

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
1	建設地が市民病院跡地から現本庁舎敷地内になった理由は。	建設地は現市長就任時に市民病院跡地を優先候補地としていましたが、基本計画（令和元年度策定）において概算工事費45億円、必要面積9,000㎡とするとともに、新庁舎を現本庁舎敷地内に建設する方針を決定しました。基本計画の検討経過において、市民病院跡地と現本庁舎敷地の比較を行った結果、病院跡地には残置された約900本の杭に対応が必要なこと、現本庁舎敷地には前計画で整備した燃料タンク、受水槽、受電設備などがあり、有効活用することで建設費約1.3億円の抑制ができるなどのメリットがありました。また、既存施設を活用する整備方針であることから、南別館等との連携性を考えると「現本庁舎敷地に建設するほうが良い」という職員の意見もあり、総合的に判断した結果、現本庁舎敷地に建設する方針が決定しました。
2	配棟計画は南北と東西の2パターンだけですか。	基本設計事業者により30通り以上の形状を検討し、5パターンの配棟案に絞り込んだ検討結果を令和3年2月、市ホームページにおいて公表しました。現設計案は、来庁者の利便性や業務効率のために必要な1階面積3,000㎡程度を確保できること、来庁者駐車場は南北の両側から進入が容易になるほか、庁舎が南北方向の眺望の隔たりにならないこと、公用車駐車場と来庁者駐車場が明確に分離されて安全なことなど最もメリットが多い案と考えています。
3	現本庁舎を取り壊したあとに新庁舎を建設しないのですか。	平成30年度の検討では、延床面積3,000㎡程度の仮設庁舎を建設した場合の費用が概算で8億円でした。業務を複数施設に分散する案も検討しましたが、いずれも費用や業務効率上、難しいと判断しました。そのため現本庁舎を活用しながら新庁舎を建設して移転後に現本庁舎を解体する計画としています。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
4	新庁舎の延床面積は現本庁舎の2倍程度となりますが市民のメリットはありますか。	ひまわり館や安土町総合支所に分散している行政機能のほとんどを新庁舎または南別館に集約することができ、市民の利便性が向上します。1階は市民生活に関する手続きを集約し、2階には、現在、ひまわり館に配置している高齢福祉や障がいに関する業務を含む福祉及び子育て関連業務を集約することで、来庁者は移動が少なく行政手続きができるメリットがあります。また、現庁舎は、トイレや待合ロビーなどが狭く段差がある状況から、ユニバーサルデザインによる利用しやすい広さとなります。
5	子どもを見守れるスペースはありますか。	子どもの見守りスペースは確保します。来庁者に同伴される子どもの年齢などにより必要なスペースが異なることから、子どもの見守り機能やカウンターの広さなどの運用面にも配慮します。
6	コミュニケーションスペースや相談ブースとは何ですか。	コミュニケーションスペースは、市民同士や職員などと自由に意見交換できるスペースです。相談ブースは、来庁者の相談に対応するためのプライバシーに配慮した個室として使用します。
7	3階の食事スペースとは何ですか。	現本庁舎には職員の昼食場所がなく自席や自家用車の中で食事をしている実態があるため、食堂ではなく、庁内にスペースを設けました。また、各執務エリアにも食事等の休憩や打ち合わせ等が可能なスペースを設ける予定です。
8	フロアマネジメントは何を行いますか。	来庁者が迷わずに手続きや相談ができるように窓口や担当部署へ案内します。また、総合窓口では証明書交付など簡便な申請や手続きを行う業務を配置する予定です。
9	現本庁舎の待合が狭いため新庁舎は待合スペースを十分に広くしてほしい。	待合スペースは、車いすや子ども連れの方なども快適に利用できるようバリアフリー化と適切な広さを確保します。具体的な窓口設置や待合スペースは実施(詳細)設計で検討を進め、市民にとって居心地のよい庁舎となるようにします。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
10	新庁舎は手続きの場所だけではなく、コミュニティの場所にもなるとよい。市民がゆっくりできる場所があればいいと思う。高齢者の活躍の場や障がいのある方の働ける場所など、チャレンジショップなどがあるとよい。	新庁舎は行政サービスの提供に重点を置いた、コンパクトな庁舎を基本としていますが、来庁者が気軽に訪れることができる、居心地のよい庁舎となるよう努めます。また、高齢者や障がいのある方等が活躍できる場所として多目的スペースの運用を検討します。
11	東向きの庁舎は光が入りにくいのではないですか。また、西側通路は暗いのではないですか。	執務空間がオープンスペースとなっており、北面と南面のガラスのカーテンウォール（ガラスの外壁）から明るさを取り入れます。また、日差しの強い夏の午後の日差しを西側のバックヤードが遮光することで執務室側の空調に必要なランニングコストを抑制する計画です。
12	新庁舎の職員の座席はフリーアドレスですか。民間のようにフレキシブルに利用できて効率よく仕事が進められるように検討してはどうか。	フレキシブルな執務スペースとするためユニバーサルレイアウトを採用し、フリーアドレスの運用も柔軟に取り入れます。新庁舎では職員の働きやすさと市民サービス提供の質が向上するようにします。
13	将来を予測した市庁舎整備計画となっていますか。	現状の行政機能を踏まえ必要面積は9,000㎡程度と計画しています。行政サービスのICT化も進展に合わせ、将来的には南別館などに配置する行政機能を新庁舎に統合していきたいと考えています。 ICT化については、国の自治体構想2040構想で、今後、行政サービスのICT化が推進し、現在の半数の職員で同じサービス提供をする方針が示されています。人口減少社会において職員数は減少しますが、ICT化により生まれた労力を多様な市民ニーズへの対応に振り向ける必要があります。また、高齢化社会を見据えてより身近なコミュニティセンター等でのサービス提供やスマートフォンでの手続きなど市民利便性の向上を目指します。
14	建設地の浸水対策として約1mの盛土を行うと道路からの勾配はどうなりますか。	敷地全体を南北道路路面（官庁街中筋、官庁街南筋）から中央に向けて緩やかに1m上げる計画です。建物部分の道路際は壁を立ち上げてスロープや階段等を設けます。北側エントランスのイメージ図を参照してください。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
15	思いやり駐車場が3台では少ないですか。	台数は「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」等の基準を参考に計画して、思いやり区画3台に加え、車いす用区画3台としています。
16	現本庁舎を解体する時の来庁者駐車場はどうなりますか。	現庁舎敷地内西側の整備済駐車場を利用します。不足する場合は周辺の市有地(警察署跡地、病院跡地ほか)の利用を考えています。
17	1月の概略説明と比べてエレベータが1台から2台に増設されていますが理由はありますか。思いやり駐車場の位置から考えると北側にも設置した方が良いのではありませんか。	市民意見を基にエレベータの台数を増設しました。当初のストレッチャー積載可能なタイプに加えて13人乗り程度のエレベータを併設し、中央1箇所に集約してコストを抑制する計画です。 また、北側に設置していない理由は、庁舎整備は敷地のかさ上げを行うため、思いやり駐車場から東玄関に向けて緩やかな動線で利用いただき、入口正面のコンシェルジュが案内しつつ近くのエレベータを利用する動線計画です。 なお、道路境界から北・南玄関への動線は正面玄関に比べ勾配が大きいいため、スロープや階段を設置しています。
18	多目的トイレはありますか。大人も含めたおむつ交換ができますか。障がいのある職員にも配慮していますか。	中央の男女別トイレ内に多目的トイレを内包しています。大人を含むおむつ交換台の設置も男女別に計画しています。また、子ども用トイレも整備します。新庁舎は来庁者や議員・職員など誰もが安全に利用できる福祉環境整備(ユニバーサルデザイン)を計画しています。
19	更衣室を併設しているトイレは職員用ですか。	職員が利用するトイレを想定しています。なお、来庁者や職員等の利用数を推計したうえで適正な便器や洗面の数を計画しています。
20	設備機器は更新しやすい計画になっていますか。	新庁舎の屋上には空調室外機を設置し、大きい受電設備は付属棟の屋上に設置する計画です。新庁舎各階の機械室は搬出用扉を設置するなど、いずれの設備も更新しやすいように計画しています。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
21	新庁舎の環境計画はゼブ・レディとありますがどのような計画ですか。	エネルギー消費量を標準的な建物の半分以下になるように計画した庁舎のことです。これは規模が同じ建物のエネルギー消費量を100とした場合、50%削減を達成した庁舎として国の認証を得る計画です。
22	将来、電気自動車が普及し公用車も電気自動車になると考えられるため、充電設備の計画も検討してはどうか。	公用車専用駐車場内に設置する計画です。充電設備の仕様や導入手法については、補助金等の活用も踏まえて検討します。また、来庁者駐車場にも充電器を設置する計画ですが、仕様等は実施(詳細)設計において検討します。
23	環境共生型庁舎として、また、脱炭素社会の実現のためには、コスト面だけではなく、市が率先して太陽光エネルギーの活用を取り入れるべきではありませんか。	現時点では、イニシャルコスト(建設費等の初期費用)やランニングコスト(維持管理コストなど)から費用対効果を検討した結果、採用しない計画です。しかしながら、ご指摘や自治体としての役割を踏まえ太陽光パネルの設置を再検討します。
24	非常用エレベータや防火シャッターの設置について。	非常用エレベータは法令により31m以上の建物に設置が必要ですが、新庁舎の計画高は約23mのため不要と考えます。シャッターは竖穴区画(防火区画)を形成するために必要です。区画については、シャッターか扉かを実施(詳細)設計で検討します。
25	前回計画で整備済の燃料タンクや受電設備(キュービクル)は活用されますか。	前計画で整備した地下に埋設した燃料タンクは新庁舎で使用します。既存の受電設備(キュービクル)は南別館の改修において活用する計画です。新庁舎のキュービクルは附属棟の屋上に設置します。また、雨水貯留槽は、現庁舎の基礎部分を利用して整備する予定です。
26	新庁舎にガラスのカーテンウォールを採用していますが強度は大丈夫ですか。また、清掃等の維持管理が必要になりませんか。	ガラスを含む建材ごとに、地震時等の変形にも追従できるよう、設計基準が定められていることから、それに基づき適切に設計をしております。また、ガラスに雨が当たると汚れが落ちやすい仕様やメンテナンスデッキの整備などを計画し適切な維持管理を行います。
27	屋上はどのような計画ですか。	屋上に空調設備機器を設置する計画です。意匠の統一性のためガラス面を一部採用しています。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
28	<p>市民サービスを優先するため、新庁舎に議会機能以外を集約し、議会機能は別に設けることは可能ですか。</p> <p>(例：南別館に配置される許認可業務を新庁舎に集約し、南別館に議会機能を集約するなど)</p>	<p>基本計画において、新庁舎の機能や性能とコストバランスのとれたコンパクトな庁舎を目指し、既存施設を活用し南別館に許認可業務を設ける計画としました。また、議会機能として必要な委員会室などは、閉会時に職員の会議室としても利用できる行政機能を備えるため議会を4階に配置する計画としています。</p> <p>将来的には、職員の減少やICT化の進展により、執務スペースに余剰が出てきた場合、許認可業務を新庁舎に集約することを想定しています。</p>
29	<p>前回の市庁舎整備工事の契約解除によって、必要になった経費はいくらですか。それは、前回と比べて安いのですか。</p> <p>新庁舎整備の財源は何ですか。</p>	<p>工事に要した費用の出来高部分が約2億5千万円、賠償金が4億600万円、合計は約6億6千万円です。また、現本庁舎の耐震改修工事費が約1億900万円、今回の庁舎基本設計費が約7,500万円となっています。</p> <p>契約解除となりました前回工事請負費は87億6,960万円(税込)で、今回は現本庁舎解体撤去費用を含め概算額で46億3千万円(税込)以内で施工する計画です。また、後年度の維持管理費について、60年間に必要なコストは建設費の3.7倍から5.2倍の経費を要すると研究資料で示されています。前計画とは建設費で約40億円の差がありますので、3.7倍で100億円程度の差が生じることとなりますので、大きな庁舎より小さな庁舎を整備する方針としました。</p> <p>なお、新庁舎建設の財源は、公共施設等整備基金の一部を活用予定です。その他、後年度において国からの交付税措置がある合併推進債を活用します。</p>
30	<p>前回と比較して延床面積が削減されて建設費がおさえられているかどのような内訳ですか。</p>	<p>前回計画は約87億円で延床面積21,000㎡です。今回の計画に必要な面積の算定として、前計画の21,000㎡から地下駐車場約2,600㎡、八幡学区避難所分約3,000㎡を兼ねるにぎわい交流機能約を除き、南別館やひまわり館の既存施設を活用することで新庁舎の必要面積は9,000㎡程度と計画しました。コンパクトにすることで建設費や維持管理コストを抑える考えです。</p>
31	<p>基本設計の完了時期はいつですか。</p>	<p>職員や議員意見などの聴取、市民説明会、パブリックコメントなどの手続きを経て令和3年6月中旬にとりまとめて7月末に基本設計を完了します。市広報8月号で特集を掲載する予定です。</p>

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
32	市民病院跡地に整備する市民広場の計画は。	市民広場は、子どもから高齢者、障がい者、外国人、観光客など、さまざまな方が交流できる拠点として、また、広域防災活動空間に利用できる広場整備を考えています。そのために、昨年度に市民アンケートを実施、集計し様々な意見を分類し、市民ニーズの把握をしました。今後も、市民ニーズを踏まえつつ、どのような広場にするのが良いか検討していき、新庁舎整備事業とは別に計画を進める予定です。
33	既存施設を活用する理由は。	S54年建築の南別館及びH10年建築のひまわり館は耐震性能があり、保健センターは耐震性能を満たしていません。南別館についてはこの先20年程度の利用が可能であり、行政機能のICT化が進んだ20年後の社会を見据えれば、許認可業務も新庁舎に集約し南別館を除却するという選択も可能になります。新庁舎の必要面積を9,000㎡と計画した現計画は、既存施設を活用することで将来的には柔軟な対応が可能です。
34	安土町総合支所の活用について地域活動に使用できますか。	建物の耐震改修工事を実施したうえで、現在提供している戸籍・保険年金・税などの住民サービスの継続と資料等の収納機能や地域活用を見込んでいます。具体的な活用方法については、安土未来づくり課を中心に検討を進めます。
35	ひまわり館と新庁舎の連携について。	ひまわり館の配置は、1階に発達支援センターと市社会福祉協議会、2階に保健センター機能が入ります。 発達支援機能のうち相談支援業務と通所支援サービスがひまわり館に残り、サービス利用者の子育てに関する福祉関連サービスは新庁舎で対応することになりますが、発達支援センター利用者に不便が生じないよう、子育てと福祉・教育の連携については所管課との協議により進めていきます。
36	新庁舎が建ったあと保健センターはどうなりますか。	保健センターは耐震性能を満たしていないため、現時点において使用方法は定まっておられません。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
37	市民活動を支えるための新庁舎内の部屋を無料で使わせてほしい。	新庁舎は市民サービスの提供をはじめとする行政機能に特化した事務所として整備するため、市民活動の専用室は庁舎内に設けませんが、1階多目的スペースやロビーなどの共有スペースの利用、また、催事等では軒下の有効活用などができるよう計画します。使用料などの運用は今後の検討になります。
38	市職員の駐車場は現在何台くらいですか。今後はどのようなになりますか。	市民病院跡地約430区画のほぼ同数について職員や委託業者などに許可証を交付しています。市民広場の整備を進める際には、全体的な駐車場計画が必要であり、職員駐車場についてもあり方を含め検討することになります。
39	市庁舎整備工事の入札は、前回99%超の落札率で契約されました。今回は、高止まりしないよう予定価格を公表しないでほしい。	担当部局は、事業予算を議会に説明する責任があり、総事業費やその内容を説明しています。前回は予定価格は非公表としていましたが、公表されている議会資料や説明から、事業者が事業予算や予定価格を推測した結果、予定価格に近い額になったことも考えられます。今回は公告から入札までの期間を適切に設けることで参加事業者の見積り期間を確保することや、できるだけ多くの事業者が入札に参加できるようにし、入札額が高止まりしにくいように検討します。
40	設計案は複数案を市民に提示してから公募で決める方法もあったのでは。	基本計画の整備方針は市民公募委員を含む15人の委員による検討により令和元年度に策定されました。この方針に基づき基本設計事業者をプロポーザル方式で選定し、事業者の技術や知見により作成された案に基づき、市の整備方針(必要面積・機能性能・コストなど)を満たしているか確認・協議しながら現設計案を作成し提示したものです。
41	新庁舎にふさわしい行政となるよう、業務についても刷新すること。	1階に市民生活に密接な業務を、2階に福祉関係業務を配置し、手続きや相談のため来庁者が動き回ることなく、サービス提供を受けることができる利便性のある新しい行政サービスの形を提供します。また、パソコンやスマートフォンを使用する電子申請や身近なコミュニティセンターでの手続きなど、ICT技術の活用を取り入れた窓口の環境整備を目指しています。

No.	市民説明会(R3.5)で出された質問や意見	基本設計(案)の市の考え方
42	官庁街通り(中筋)と来庁者駐車場の動線の交通安全対策を考えると道路改良等が必要ではありませんか。また、北側出入口から右折して東へ帰る来庁者への配慮もお願いします。	出入口の交通安全対策は道路担当者と協議しながら検討します。また、敷地内の、来庁者への安全対策などは、引き続き実施(詳細)設計において検討します。